

◆◆◆ 解答は、すべて解答用紙に書くこと。 ◆◆◆

一 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

ハーバード大学の国際政治学者サミュエル・ハンティントン教授は、その一九九〇年代のベストセラー『文明の衝突』の中で世界の文明を七つに分けました。中華文明、ヒンドゥー文明、イスラム文明、日本文明、東方正教会文明（ロシアなど）、西欧文明、ラテンアメリカ文明の七つです。学者が何かを分類しようとするとき、なるべく簡明なものにしようとします。複雑な区分けはもはや分類と呼べないからです。当然、分類を考える誰もが当初、日本という小国だけに存在する日本文明を、中華文明に組み入れようとしています。分類は学者によって二十一個、十六個、八個などさまざまですが、①どの学者も、日本文明を独立したものとこの結論に至るのです。しかも日本文明以外は多くの国にまたがるのに日本文明は日本だけのものです。一万年も前の縄文時代からあった土着の文明に、西暦二世紀頃から中華文明が混じり、十六世紀中頃からは西欧文明の影響を受けたものの、主に日本という孤島で独自の発達を遂げた文明、とみなさざるを得ないからです。明瞭に中華文明に含まれる朝鮮半島などと異なり、日本文明と中華文明は大きく隔たっているのです。

日本文明以外にもエチオピア、モンゴル、チベット、タイなど孤立した文明はありますが、ハンティントンは高度に発達したもののだけを対象としたため七つに絞られたのです。

日本人は古来、新しい進んだ文明に触れると、**a** センサイで知的な民族性だけにすぐに自分たちのものと比べ、劣等感を抱き、それを見習い取り入れてきました。漢字も仏教も西欧の技術もそうでした。ところが不思議なことに、その劣等感をバネに、②それら新文明に必ず日本特有の色を加え、すでにある自分たちの文明と融合させた独自のものに作り変えていくのです。そうやって進化と洗練を繰り返してきた結果が日本文明なのです。

漢字が来れば間もなく万葉仮名、片仮名、平仮名を發明し、また漢文の訓読などという大奇手を放ち、漢文を日本語に取り込んでしまうのです。仏教も飛鳥時代に伝来して間もなく、古来よりある神道との調和を目指した神仏習合という離れ業により融合が図られ、平安時代には本時垂迹説が広がり神仏習合は理論的にも整備されました。他国においてなら恐らく仏教派と神道派との間に猛烈な宗教戦争が始まるところでしょうが、わが国では聖徳太子の「和を以て貴しとなす」がそのまま実行されたのです。明治維新の頃には廃仏棄釈などという不幸で**b** ヤパンなことも一時期行われましたが、民族精神でもある「和」によって治まりました。 **I** 文部科学省の調査によると、現在、我が国における宗教の信者数は、自分を仏教系と思う人と神道系と思う人を合わせると二億を超えるのです。見事な数字です。

II 遣唐使の終了した平安末期の頃から鎌倉時代にかけては法然、親鸞、日蓮といった大天才をc ハイシユツし、日本独自の仏教が創始されました。また禅や儒教は中国では庶民にまでは広がりませんでした。日本では鎌倉時代に武士道を通じて武士階級に広まりました。平和な江戸時代になると、山鹿素行などによりこの武士道はさらに深く儒教が取り入れられ、武士道精神にまで洗練されました。これは講談、読本、謡曲、歌舞伎、能といった大衆文芸や芸能を通じて国民一般に伝わりましたから、ついには国民精神にまでなっているのです。

儒教のベースとなる四書五経は藩校で武士の子弟に学ばれたのは当然ですが、庶民の通う寺子屋でもしばしば教えられました。 **III** 四書五経は、中国では主に学者や科挙を通った一部エリート **d** カンリョウのものであったのに、日本では国民の財産となったのです。

③先進中国のものであっても無批判に模倣したわけではありません。中国式の君主専制は「和」に反するので取り入れなかつたし、科挙や宦官も取り入れませんでした。馬の去勢は中国だけでなくユーラシア大陸で広く行われていたのに、日本では血は不浄とみられていましたし「惻隠」にも反するので取り入れられませんでした。日本人特有の美德に照らし合わせ取捨選択と換骨奪胎を繰り返しながら独自のものとしていきました。こうして世界七大文明の一翼を **e** ニナウ、堂々たる日本文明が完成したのです。

(『日本人の誇り』藤原正彦)

問一 二重傍線部 a ～ e のカタカナを漢字に直しなさい。

問二 傍線部 ① とは、どうしてか。本文中の語句を用いて簡潔に答えなさい。

問三 空欄 I ～ III にあてはまる適当な言葉を後の語群から選び、答えなさい。(同じ言葉を何回用いてもよい。)

A こうして イ しかし ウ だからこそ エ さらに オ つまり

問四 傍線部 ② について整理した次の表の空欄に入る語句を本文中から抜き出して答えなさい。

新文明	日本文明
漢字	万葉仮名 片仮名 平仮名 の發明
漢文	(ア) の發明
仏教	神道との調和 = (イ) (四字)
禅や儒教	(ウ) に取り入れられる

問五 傍線部 ③ とあるが、その背景には何があると考えられるか。簡潔に答えなさい。

二 次の空欄に適当な漢字を入れて四字熟語を完成させなさい。

(その二)

- 1 暗中 索
2 一目 瞭
3 外 内 剛

三 次の1～3の慣用句・ことわざ・故事の()にあてはまる適当な言葉を漢字一字で答えなさい。

- 1 すべての()はローマに通ず
2 ()えあれば患いなし
3 二の()を踏む

四 次の語の反対語を、それぞれ後の語群から一つ選び、漢字で答えなさい。

- 1 富裕
2 怠惰
3 尊敬

(語群) ソンダイ キンベン カンマン ヒンコン ケイベツ ユウフク

五 傍線部の例文における意味として最も適当なものを、①～⑤のうちから選び記号で答えなさい。

1 いくら残っているのかと訊かれ、男は口ごもった。

- ①言葉が見つからず否定した ②言葉に詰まってはっきり言えなかった ③言葉を失って違うことを言った
④言葉にいたくなくて黙ってしまった ⑤言葉を忘れて小さな声で言った

2 そう闇雲に正義を振りかざすなよ。

- ①見通しもなく強引に ②かたくなに意地を張って ③堂々と勇ましく ④考えもなく軽率に ⑤力づくで意志を通して

3 若かった俺はただ彼女を利用しているのではという思いに苛まれた。

- ①おおいに悩まされた ②激しく突き動かされた ③ひどく責め立てられた
④後ろめたくて気がとがめた ⑤どこまでも心配させられた

六 次の文の「」内の言葉を、正しい敬語に直しなさい。

1 先生が「言って」いたとおりでした。

2 来週そちらに「行きます」。

3 どうぞ「食べて」ください。